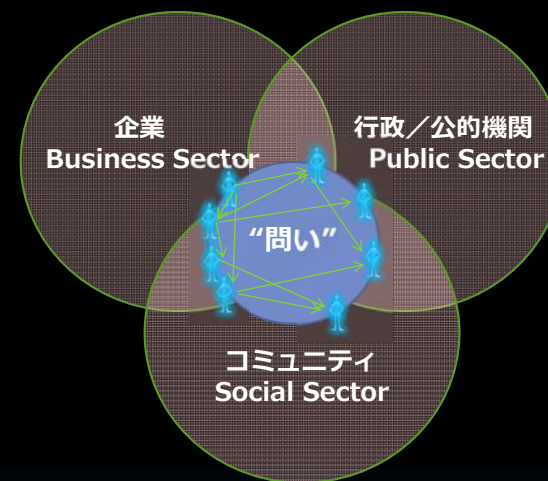


認知症アクションアライアンスに向けて ～公共交通セクターの可能性～

認知症フレンドリージャパン・イニシアチブ (DFJI)
/ 富士通研究所 R&D戦略本部
岡田 誠

<http://www.facebook.com/makoto.okada>
okadamkt@jp.fujitsu.com

DFJIとは



企業・自治体・NPOなどのセクターを越えて、
認知症の課題を起点に、未来を考え、
アクションを起こしていくネットワーク

<http://www.dementia-friendly-japan.jp/>

DFJIとは「オープンな緩やかな連携」

1. 認知症フレンドリーな社会を考え、実験し、成果を共有する**自発的なコミュニティ**
2. 参加者は、自治体・企業・研究者・NPOなどの枠を超えたプロジェクトを**自由に作り、参加することができる**
3. 認知症フレンドリーな社会に関する**大切な原則を共有する**
4. イニシアチブのゴールは、認知症フレンドリーな社会へ向けた日本発の**社会イノベーション**が生まれること

オープンソースコミュニティのアナロジー

社会課題としての認知症

462万人

※2012年現在

1/5



2025年に、65歳以上の人に占める
認知症の人の割合

「日本における認知症高齢者人口の将来推計に
関する研究」(九州大学・二宮教授)による推定値

67%



家で暮らす認知症の人の割合

平成23年「認知症高齢者自立度分布調査」(東京都
認知症高齢者自立1以上)

10兆円



認知症の社会的費用

英国アルツハイマー協会の調査を、
日本に置き換えた推計

10万人



1年間に、親の介護などで
離職する人の数

平成24年就業構造基本調査(総務省)

「認知症の人にやさしいまちづくりガイド」
<http://www.glocom.ac.jp/project/dementia/113>

認知症になることで、
外出や交流の機会が減っています。
(「回数や頻度が減った」、「活動をやめた」と答えた人の割合)

「友人や知人と会う」
機会が減った

69.2%

「電車やバスなどの利用」
が減った

67.8%

「買い物」に行く機会が
減った

67.8%

「外食に行く」
機会が減った

60.1%

活動や交流の減少には、
理由があります。
(認知症の人が日常生活のなかで困っていること)
(「困っている」、「活動の妨げとなっている」と答えた人の割合)

駅構内で迷ったり、
適切なバス停を探すのが難しい

50.7%

券売機や自動改札など
機械操作が難しい

49.7%

ATMの操作が
難しい

43.5%

電話や携帯、メールなどの
通信機器を使うのが難しい

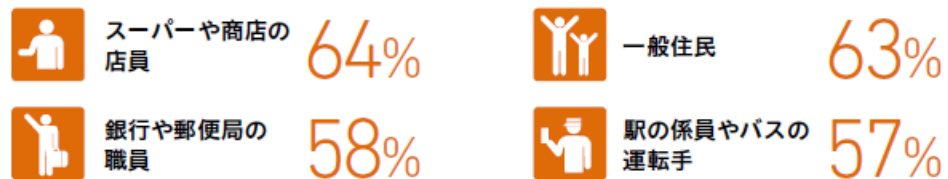
43.5%

「認知症の人にやさしいまちづくりガイド」
<http://www.glocom.ac.jp/project/dementia/113>

「認知症の人にやさしいまちづくりガイド」
<http://www.glocom.ac.jp/project/dementia/113>

多くの人に、私たちのことを、「認知症」のことをもっと知ってほしい。

お店のご主人やバスの運転手さんなど、普段の生活を支えてくれる人たちにも、そして、ご近所さんにも、多くの人に認知症についてもっと知ってもらいたいと思っています。



(どのような人に認知症に対する知識をもっと持ってもらいたいと思うか、に答えた人の割合)

「認知症の人にやさしいまちづくりガイド」

<http://www.glocom.ac.jp/project/dementia/113>

「シンプルな問い」

こんなに高齢者の方が増えていく時代に、私たちのビジネスや市場の捉え方をどう変えればよいだろうか？

まず、社員が外に出て感じるという文化を再構築するために、どうしたらよいだろうか？

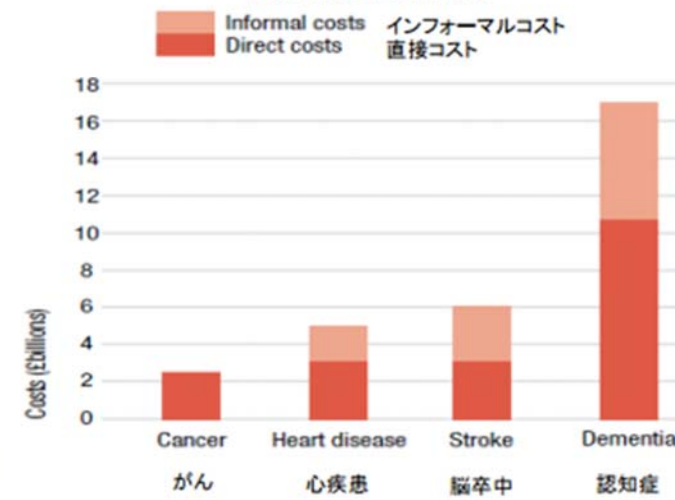
我々は、未来のステークホルダーとの関係を、どこから、どのように、作っていけばよいのだろうか？

アサヒグループホールディングス Voice II活動でのコメント

英国の例 (認知症アクションアライアンスほか)

The comparative societal costs of cancer, ischaemic heart disease, stroke and dementia in the United Kingdom

英国におけるがん、虚血性心疾患、脳卒中、認知症の社会的コスト比較



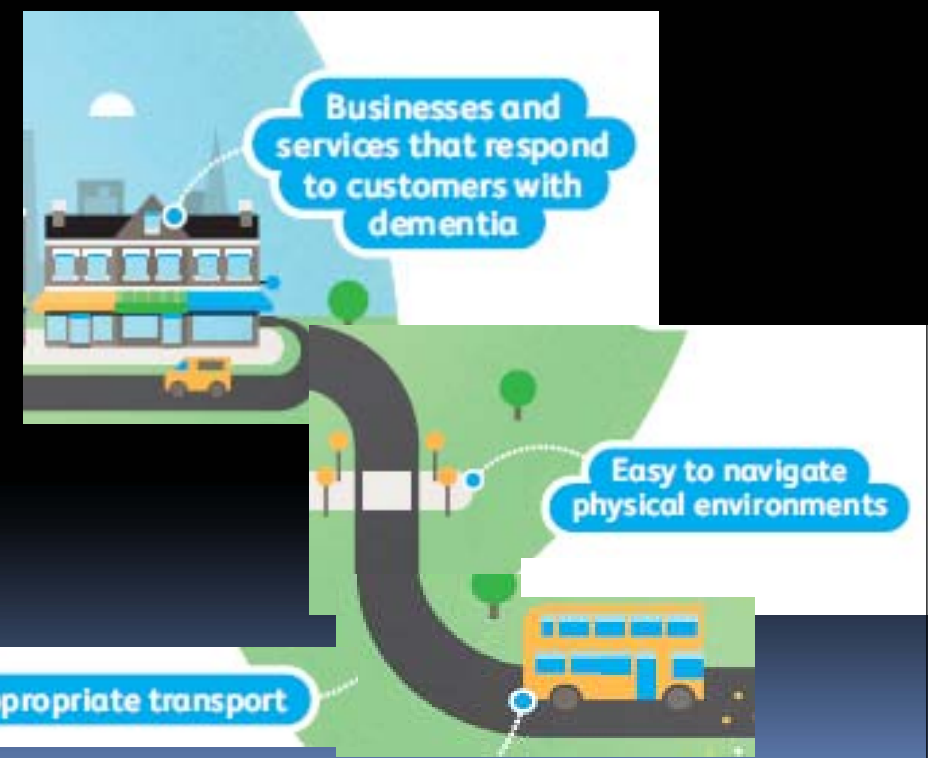
アリスター・バーンズ「イングランドにおける認知症国家戦略」

http://www.igakuken.or.jp/research/gakujutsu_syukai/g_syukai130129/pdf/list01.pdf

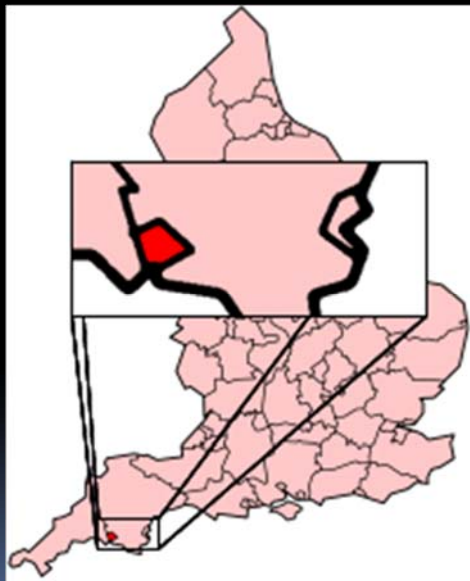
Dementia-friendly communities



http://www.alzheimers.org.uk/site/scripts/download_info.php?fileID=1916



Plymouth市の場合



イングランド南西部デヴォン州にあるイギリス有数の港湾都市。

イギリス海軍の軍港としても有名
ロンドンから列車で4時間。

人口：25万人（2007年）

Plymouth Dementia Action Alliance



30の組織が名前を連ね、加盟している団体は、バス会社、図書館、大学、海軍基地、クリニック、介護施設、学校、非営利団体、弁護士など

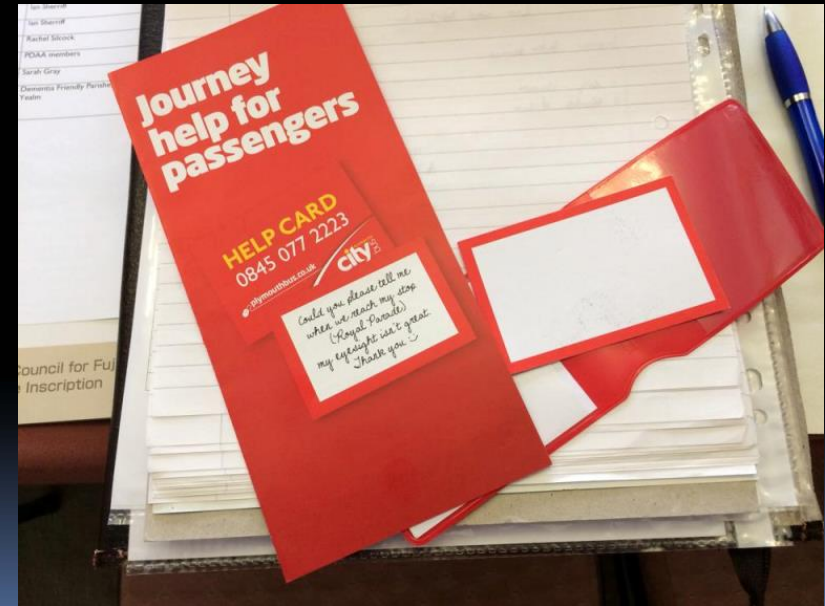
Stoke Damarel Community College



Prime Minister's challenge on dementia



Plymouth Citybus



“自分の仕事から”

～自分たちには一体何が出来るだろうか？



<http://tabinokotoba.sfc.keio.ac.jp/>

日本でのアクション

DFJI : DFJサミット 2015



<http://www.dementia-friendly-japan.jp/>

DFC : RUN伴 2015

認知症の人とともにタスキをつなぐ列島リレー

全てのまちが認知症になっても安心して暮らせる地域に

北見～大牟田
3000 km

RUN TOMO-RROW 2015
KITAMI / Hokkaido to OMUTA / Fukuoka 3000km!

RUN 伴 (ランとも) とは、認知症の人や家族、支援者、一般の人が少しづつリレーをしながら一つのタスキをつなごうと目指すイベントです。私たちが目指す「認知症になっても安心して暮らしていける町」をつくるには、地域に暮らす人達が思いを繋ぎ、それが考え、そして同じビジョンを掲げながら繋がり自づつから出来るのだと考えます。あなたも暮らす地域のひとりと出逢い、お互いをもっと知ることが、認知症について考えを共有していきませんか。

5月11日～7月10日 (RUN 伴 3000km リレー 参加受付中)

- 7月 ● 北海道 (北見～旭川～滝川～)
- 8月 ● 東北 (青森～秋田～山形～福島～)
- 9月 ● 関東 (水戸～宇都宮～)
- 9月 ● 北陸 (新潟～富山～石川～福井～)
- 9月 ● 中部 (静岡～愛知～岐阜～)
- 10月 ● 関西 (京都～奈良～和歌山～)
- 10月 ● 中国 (岡山～広島～)
- 10月 ● 九州 (下関～福岡～大牟田～)

詳しい日程とイベントの詳細は以下のホームページまで
<http://runতো.じんど.コム/>

主催 NPO 法人認知症フレンドシップクラブ / RUN 伴 2015 実行委員会

<http://runতো.じんど.コム/>

「旅のこたば」のワークショップ

旅のこたば

認知症とともによりよく生きるためのヒント

Words for a Journey - The Art of Being with Dementia

認知症とともによりよく生きるヒント

前向きで実践的な工夫を、共有できる「こたば」に



慶應義塾大学 井庭崇研究室 × 認知症フレンドリージャパン・イニシアチブ
Iba Laboratory, Keio University × Dementia Friendly Japan Initiative

<http://tabinokotoba.sfc.keio.ac.jp/>

『本人+家族+社会』



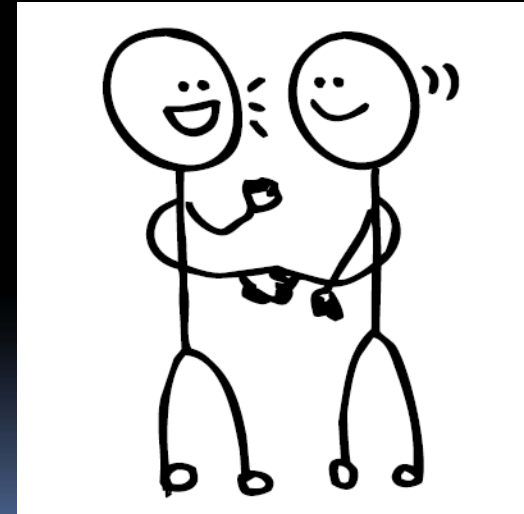
“できることリスト”

できないことばかりに目を奪われない



“個人的なつきあい”

関わるなかで学んでいく



“ウォーム・デザイン”

クールでもホットでもない
自分らしいこちよいデザイン



提案

対話 + DAA (Dementia Action Alliance)

認知症の人にやさしいサービス



【UK 金融憲章】
UKアルツハイマー協会

+

金融業界



流通憲章

・

交通憲章

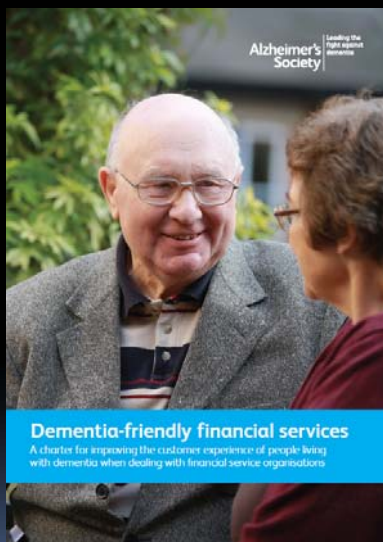
<http://www.glocom.ac.jp/project/dementia/42>
http://www.alzheimers.org.uk/site/scripts/download_info.php?downloadID=1294

「認知症の人にやさしい金融サービス」より

- 銀行を利用するにあたり、何らかのサポートが必要：66%
- 銀行を利用した際に困難に直面する：76%
- 請求書の支払いにおいて何らかのサポートが必要：70%
- 銀行は委任状をもっと理解すべきであると感じる介護者：80%
- 認知症の人の銀行取引をサポートしている介護者：84%

(UK 金融憲章「認知症の人にやさしい金融サービス」より)

UK金融憲章の作り方・使い方



【トップダウン】
UKアルツハイマー協会
+

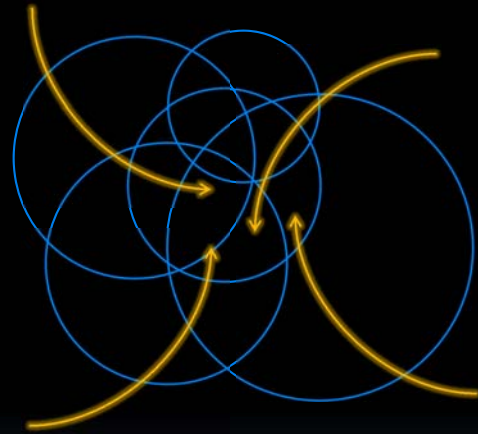
アンバサダー（大使）



【ボトムアップ】
DAA型の
学びのコミュニティ

<http://www.glocom.ac.jp/project/dementia/42>
http://www.alzheimers.org.uk/site/scripts/download_info.php?downloadID=1294

交通系でDAAを！！



認知症
フレンドリージャパン・
イニシアチブ

FUJITSU

shaping tomorrow with you

Dementia Action Alliance "Job-Specific Contributions"



Financial Service
Charter



City-bus Actions



重ねることで価値を創る

Future: Inspiring Social Innovation
- across sectors, across borders -
Futures 第三回 シニアのアクティビティ向上!



<https://vimeo.com/61164506>

立場の違うメンバーであることが発見を促す

Fujinomiya Project Bridging Communities: sharing our memories



<https://vimeo.com/110885509>

リソースを持ち寄ることで価値を創る